

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会  
(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会  
岡山県合同実行委員会設立総会及び第1回総会



日 時 令和5年5月26日(金)14:00～

場 所 岡山プラザホテル 吉備の間



# 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会 ・アイスホッケー競技会 大会概要

## 1 目的（国民体育大会開催基準要項）

大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

## 2 主催

公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、岡山県、群馬県、  
公益財団法人日本スケート連盟、公益財団法人日本アイスホッケー連盟、  
岡山市、倉敷市、群馬県渋川市

## 3 会期

令和7年1月26日（日）～2月5日（水） 11日間

※スピード競技は未定

## 4 参加者（過去大会平均） \*岡山県開催競技（種目）関係

選手・スタッフ・競技役員 約 1,300人

観客（延数） 約 15,000人

## 5 日程及び会場

会場地	式典・競技	1月						2月					会場	
		26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日		
		(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)		
未定	開始式	◎												未定
	表彰式 (スケート)	未定										未定		
	表彰式 (アイスホッケー)											◎	未定	
岡山市	スケート トラック		○	○										岡山国際スケートリンク
倉敷市		フィギュア		○	○	○	○							ヘルスピア倉敷アイスアリーナ
岡山市	アイスホッケー							○	○	○	○	○	岡山国際スケートリンク	
倉敷市								○	○	○	○	○	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ	

<◎:開始式、表彰式 ○:競技日>

岡山国際スケートリンク（岡山市北区岡南町 2-3-30）

ヘルスピア倉敷アイスアリーナ（倉敷市連島町西之浦 4141）

## 6 実施競技・種別・種目及び参加人員（予定）

### (1) スケート競技会

#### ※スピード（群馬県）

種 別	種 目
成年男子	500m・1000m・1500m・5000m・2000mリレー
成年女子	500m・1000m・1500m・3000m・2000mリレー
少年男子	500m・1000m・1500m・5000m・10000m・2000mリレー
少年女子	500m・1000m・1500m・3000m・2000mリレー

#### ○ショートトラック

種 別	種 目
成年男子	500m・1000m・5000mリレー
成年女子	500m・1000m・3000mリレー
少年男子	500m・1000m
少年女子	500m・1000m

#### ○フィギュア

種 別	種 目
成年男子	ショートプログラム フリースケーティング
成年女子	
少年男子	
少年女子	

#### 【参加人員（スピード・ショートトラック・フィギュア）】

種 別	監督数	選手数	都道府県数	小 計	合 計
成年男子	12名 以内	30名	47	1都道府県 66名以内	858名 以内
成年女子		以内			
少年男子		24名			
少年女子		以内			

\*各都道府県は、監督12名、選手54名、計66名以内で編成。

(2) アイスホッケー競技会

【種別及び参加人員】

種 別	監督	選手	参加都道府県数	小 計	合 計
成年男子	1名	16名	26	442名	663名
少年男子	1名	16名	13	221名	

○ ブロック大会の関係都道府県及び選出チーム数

ブロック名	都道府県名	成年	少年
北海道	北海道	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	4	2
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	5	4
北信越・東海	新潟・長野・富山・石川・福井・静岡・愛知・三重・岐阜	4	3
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	4	
中国・四国	鳥取・島根・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知	3	2
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	4	
開催地	岡山	1	1
計		26	13

## 開催準備経過

### 令和4年

- 4月25日 (公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣が「開催要請書」により、岡山県、岡山県教育委員会、(公財)岡山県スポーツ協会に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を要請
- 5月 岡山県から岡山市及び倉敷市に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を要請
- 5月24日 岡山市及び倉敷市が第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を了承
- 6月10日 岡山県、岡山県教育委員会、(公財)岡山県スポーツ協会が連名により、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の「開催受諾書」を(公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣に提出
- 7月4日 (公財)日本スポーツ協会副会長が来県し、岡山県知事、岡山県教育委員会教育長、(公財)岡山県スポーツ協会会長に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催について、(公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣連名の「開催決定書」を手渡し、正式に開催が決定
- 10月20日 岡山県準備委員会設立総会及び第1回総会を開催し、「開催基本方針(骨子)」、「テーマ、スローガン、シンボルマークの募集要項」等を決定
- 11月1日 大会のテーマ・スローガン・シンボルマークの募集を開始  
(令和4年11月1日～令和5年2月28日)
- 12月9日 (公財)日本スポーツ協会第3回国民体育大会委員会において、開始式及び表彰式の会場を除く競技会会期及び競技会場が承認

### 令和5年

- 3月22日 大会テーマ等審査委員会を開催し、テーマ・スローガン・シンボルマークを選考
- 4月1日 岡山県環境文化部スポーツ振興課内に国民スポーツ大会推進室を設置

## 岡山県合同実行委員会の設立について

### 設 立 趣 旨

国民スポーツ大会冬季大会は、昭和22年、国民体育大会冬季大会として青森県で開催されて以降、我が国最大の冬季スポーツの祭典として、国民の健康増進と体力の向上、スポーツの普及や地方スポーツの推進と地方文化の発展に大きな役割を果たしてまいりました。

こうした中、令和4年7月4日に第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会の岡山県での開催が決定いたしました。

令和7年1月に開催するこの大会は、西日本においては初めての開催であり、本県の冬季スポーツの振興や地域の活性化だけでなく、西日本における冬季大会の可能性を広げる、誠に意義深いものであります。

このため、この大会を成功させることを目的として、岡山県、岡山市、倉敷市をはじめ、競技団体や関係機関が一丸となって、大会の準備及び運営に関する事業を行う「第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会」を設立しようとするものであります。

# 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会 (ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会 岡山県合同実行委員会会則(案)

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この会は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

### (事務所)

第2条 本会の事務所は、岡山県環境文化部スポーツ振興課国民スポーツ大会推進室内（岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号）に置く。

### (目 的)

第3条 本会は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）を開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

### (事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1)大会運営に必要な総合企画に関すること。
- (2)公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、関係競技団体、その他関係機関及び団体との連絡調整に関すること。
- (3)競技の運営に関すること。
- (4)式典の企画及び運営に関すること。
- (5)役員、選手団等の宿泊、輸送に関すること。
- (6)広報及び報道に関すること。
- (7)警備、防災及び保健医療に関すること。
- (8)前各号に掲げるもののほか、大会の開催に必要な事項に関すること。

## 第2章 組 織

### (委 員)

第5条 本会は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱した委員（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1)岡山県、岡山市及び倉敷市の役職員
- (2)競技団体、その他の関係機関及び団体の役職員
- (3)前各号に掲げる者のほか、大会運営に関係のある者

2 前項第1号及び第2号の委員は、その役職にある者をもって委嘱し、その役職員に異動があった場合は、その後任者を委嘱する。



#### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 若干名

#### (役員を選任)

第7条 会長は、岡山県知事をもって充てる。

2 副会長及び監事は、委員のうちから会長が委嘱する。

#### (役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名した副会長がその職務を代理する。

3 監事は、本会の業務及び会計を監査する。

#### (任期)

第9条 委員及び役員の任期は、委嘱されたときから本会の目的が達成されたときまでとする。

#### (顧問及び参与)

第10条 本会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応ずる。

4 参与は、重要な会務に参与する。

5 前条の規定は、顧問及び参与について準用する。

### 第3章 会 議

#### (会議の種類)

第11条 本会に、次の会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会

#### (総会)

第12条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、会長が召集し、その議長となる。

3 総会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 常任委員会に委任する事項に関すること。
- (5) その他重要な事項に関すること。

- 4 総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 5 総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人にその議決に係る権限を委任し、又は書面をもって議決に加わることができる。

#### (常任委員会)

第13条 常任委員会は、第5条の委員のうちから会長が委嘱した常任委員会委員長のほか、次に掲げる者のうちから会長が委嘱した常任委員会副委員長及び常任委員会委員をもって構成する。

(1)委員

(2)大会に係る機関又は団体の役職員

(3)前各号に掲げる者のほか、大会運営に係る者

2 前項第2号の委員は、その役職にある者をもって委嘱し、その役職員に異動があった場合は、その後任者を委嘱する。

3 委員長は常任委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した副委員長がその職務を代理する。

5 常任委員会は、必要に応じて会長が招集し、委員長がその議長となる。

6 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し決定する。

(1)総会から委任された事項に関する事。

(2)総会を招集するいとまがない場合における緊急な事項に関する事。

(3)その他会長が必要と認める事項に関する事。

7 前条第4項及び第5項の規定は、常任委員会において準用する。

### 第4章 専決処分

#### (会長の専決処分)

第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）の権限に属する事項について、総会等を招集するいとまがないと認められるときは、これを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の総会等において報告し、承認を求めなければならない。

### 第5章 事務局

#### (事務局)

第15条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 第6章 会計

#### (経費)

第16条 本会の経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもってこれに充てる。

#### (会計年度)

第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

2 本会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 第7章 解 散

### (解 散)

第18条 本会は、その目的が達成されたときに解散する。

2 本会が解散した場合において残余財産が生じたときは、岡山県、岡山市及び倉敷市に帰属するものとする。

## 第8章 補 則

### (委 任)

第19条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

1 この会則は、令和5年5月26日から施行する。

2 第17条の規定にかかわらず、令和5年度の会計年度は、施行の日に始まり翌年の3月31日に終わるものとする。

3 この会則施行の際、現に第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県準備委員会会則に基づいて決定された事項又は行われた行為については、この会則により決定され、又は行われたものとみなす。

## 常任委員会に委任する事項(案)

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会会則第12条第3項第4号に規定する委任事項は、次のとおりとする。

- 1 大会運営に必要な総合企画に関すること。
- 2 競技の運営に関すること。
- 3 式典の企画及び運営に関すること。
- 4 役員、選手団等の宿泊、輸送に関すること。
- 5 広報及び報道に関すること。
- 6 警備、防災及び保健医療に関すること。
- 7 その他大会の開催に必要な事項に関すること。

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会  
岡山県合同実行委員会 常任委員会名簿(案)

役 職	所 属 ・ 職 名	氏 名
委員長	岡山県環境文化部長	大熊 重行
副委員長	岡山県環境文化部文化スポーツ振興監	久山 順一
副委員長	(公財)岡山県スポーツ協会専務理事	松井 守
委 員	NPO法人岡山県スケート連盟理事長	藤原 利章
委 員	岡山県アイスホッケー連盟理事長	芳野 俊
委 員	(公財)岡山県スポーツ協会事務局長	奥田 洋司
委 員	岡山県高等学校体育連盟理事長	高取 俊明
委 員	岡山県中学校体育連盟理事長	安田 洋章
委 員	NPO法人岡山県スケート連盟事務局長	吉川 二郎
委 員	岡山県アイスホッケー連盟副理事長	中村 啓二
委 員	岡山県教育庁保健体育課長	片岡 敏行
委 員	岡山市スポーツ振興課長	唐井 努
委 員	倉敷市スポーツ振興課長	岡 昭典

## 開催基本方針(案)

### 1 基本方針

これまでの国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会の開催の歴史の中で、西日本で初めて開催される大会として、本県の多彩な魅力を全国に発信するとともに、簡素・効率化に努め、今後の国民スポーツ大会冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける大会の実現を目指します。

また、この大会を通じて県民が「する」「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツの楽しさや感動を分かち合える機会を創出し、「スポーツ立県おかやま」宣言に謳う「夢、勇気、感動を創出できる岡山の実現」を目指します。

### 2 実施目標

#### (1) 大会の成功

岡山県、岡山市、倉敷市、関係機関及びスポーツ団体との緊密な連携のもとに、大会の運営に万全を期し、大会の成功につなげます。

#### (2) 本県の魅力を全国に発信する大会

全国からの参加者をおもてなしと感謝の心を持って歓迎し、豊かな自然、歴史史跡、アートスポットや自慢の逸品など、温暖な気候に恵まれた岡山の魅力発信や地域の活性化につなげる大会を目指します。

#### (3) 今後の冬季大会のモデルを目指した大会

既存施設の有効活用や効率的な大会運営など、過去の例にとらわれず、不足するリソースを新たな視点や工夫によって補うことで、今後の冬季大会の開催が全国各地へと広がる新しいモデルとなる大会を目指し、冬季スポーツの普及・振興に寄与します。

#### (4) 「スポーツ立県おかやま」の実現に資する大会

本県の競技力向上を図るとともに、冬季スポーツに親しんでもらう機会の創出や魅力のPRにより、スポーツの振興と健康で活力に満ちた社会の実現に寄与します。

## 令和5年度事業計画(案)

大会の開催準備を推進するため、次の事業を行う。

### 1 総務

- (1) 総会の開催
- (2) 常任委員会の開催
- (3) (公財)日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会への出席
- (4) 各種基本方針の策定
- (5) 実施要項(競技、式典次第、宿泊、輸送交通、医療救護)の作成
- (6) 第78回国民スポーツ大会冬季大会視察(北海道苫小牧市)
- (7) その他必要な事項

### 2 広報

- (1) テーマ・スローガン・シンボルマークの決定
- (2) テーマ・スローガン・シンボルマークの最優秀作品の表彰
- (3) 公式ポスターの作成、配付
- (4) 各種広報媒体による広報、啓発
- (5) その他必要な事項

### 3 式典・競技

- (1) 開始式・表彰式の運営計画の作成
- (2) 競技運営計画の作成
- (3) 競技役員、補助員育成
- (4) その他必要な事項

### 4 協議・連絡調整の実施

スポーツ庁、(公財)日本スポーツ協会、スピード競技開催県(群馬県)及び各競技団体等との連絡調整

### (参考)

冬季スポーツ・OKAYAMA 応援事業(岡山県単独実施事業)

大会に向けた県全体の機運醸成を図るため、県内のスケートリンク(岡山・倉敷・津山)において、子ども等を対象に開催競技の体験教室等を実施するもの。

## 令和5年度歳入歳出予算(案)

(歳入)

(単位:千円)

科目	予算額	備考
実行委員会収入	7,313	
実行委員会収入	7,313	
負担金	7,313	
開催県負担金	3,657	岡山県負担金
開催市負担金	3,656	岡山市負担金1,828千円 倉敷市負担金1,828千円
歳入合計	7,313	

(歳出)

(単位:千円)

科目	予算額	備考
実行委員会費	7,313	
総務企画費	7,013	
委員会費	152	会議開催費
事務局費	5,046	先催県視察・調査費 事務局運営費
報道広報費	1,815	広報啓発費
競技運営費	300	
競技運営費	300	競技役員・補助員育成費
歳出合計	7,313	



## テーマ・スローガン・シンボルマーク(案)

### 1 テーマ 「晴れて輝け！おokayama国スポ」

岡山県らしさがあふれる言葉ということで、晴れという言葉と、選手たちが氷上で競技を行っている姿をイメージしたときに、氷の輝きと選手の奮闘している姿が頭に浮かんだとして、この言葉で表現されています。

### 2 スローガン 「輝く君は氷上の華」

それぞれの競技で、今まで鍛錬してきた選手たちは、国スポ大会で最も輝いて、その花を咲かせる活躍を見せてくれるだろうという気持ちが込められています。

### 3 シンボルマーク



桃色で実、黄緑色で葉を描き、桃から岡山を連想させています。橙色は太陽で、晴れの国岡山をイメージしています。青色は水で、桃が流れる様子と、スケート競技の氷と桃の葉、太陽を点対称になる様にし、漢字の「岡山」が左右対称であることと掛けています。桃で開催地と開催年、国民体育大会マークを囲み、心が熱くなる大会になることを祈っているということを表しています。

#### (審査経過)

募集期間 令和4年11月1日(火)～令和5年2月28日(火)

応募資格 岡山県内に在住・通勤・通学する方

応募総数 テーマ264点、スローガン254点、シンボルマーク314点

審査委員会 令和5年3月22日(水)開催

## 大会テーマ等審査委員会の審査結果

### 1 入選作品




#### (1) テーマ

入選区分	作 品	氏 名	住 所
最優秀	晴れて輝け！おかやま国スポ	おかもと ゆうじ 岡本 悠嗣	津山市
優秀	ハレ舞台 おかやま国スポ	みやたけ けんじ 宮武 健治	玉野市
優秀	ハレの氷上・国スポおかやま	ひろた あきひさ 廣田 顕久	倉敷市

#### (2) スローガン

入選区分	作 品	氏 名	住所又は学校名
最優秀	輝く君は氷上の華	やまもと あきこ 山本 明子	倉敷市
優秀	氷上に刻め新しい歴史	や つい わ も え か 八ツ岩 萌花	岡山県立倉敷 商業高等学校
優秀	ここが私の晴れ舞台	おがわら まさえ 小河原 正恵	津山市

#### (3) シンボルマーク

入選区分	作 品	氏 名	住 所
最優秀		わたなべ ほの か 渡邊 帆乃香	岡山市
優秀		ひらた のぶ こ 平田 乃生子	総社市
優秀		こだま やすし 児玉 康司	岡山市

## 2 大会テーマ等審査委員会

役 職	所属・職名※	氏 名
委員長	岡山県立大学デザイン学部長	嘉数 彰彦
委 員	岡山県環境文化部長	佐藤 将男
委 員	(公財)岡山県スポーツ協会専務理事	松井 守
委 員	NPO法人岡山県スケート連盟理事長	藤原 利章
委 員	岡山県アイスホッケー連盟理事長	芳野 俊
委 員	岡山県環境文化部スポーツ振興課長	宮野 欣也
委 員	岡山県教育庁保健体育課長	山本 圭司
委 員	岡山市市民生活局スポーツ文化部スポーツ振興課長	唐井 努
委 員	倉敷市文化産業局文化観光部スポーツ振興課長	岡 昭典
委 員	岡山県高等学校体育連盟理事長	高取 俊明
委 員	岡山県中学校体育連盟理事長	山口 憲明

※審査委員会開催当時